

花火大会の会場で消防団活動の理解深化をPR

銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和6年8月3日（土）約7万人の観客で賑わう、銚子市みなとまつり花火大会のオープニングイベントにおいて、女性消防団員によるPR活動を実施しました。

地域住民の皆さんに団員の減少問題をはじめ、消防団活動に対する理解を深めていただき、関心をもってもらうことで、団員確保につなげ、激甚化・頻発化する災害に対応出来る地域防災力の充実強化を目的としています。

消防団活性化に向け検討を重ね、団活動に参加しやすい環境づくりに努めてまいります。



地元中学生が職場体験

新潟市消防局

8月1日（木）、新潟市消防局東消防署は地元の中学生3名に対し、職場体験を実施しました。

中学生は夏休みを利用し消防署に訪れ、午前中は応急手当講習を受講し、午後は防火衣装着及び放水訓練を行いました。当日は新潟県の梅雨明けが発表され、好天猛暑の中ではありますが、中学生は楽しく訓練等に臨んでいました。職場体験を通じて、将来消防士を目指したいと言ってくれた中学生もあり、職員に積極的に質問などしていました。

今後も地域の学校等と連携し、消防広報等に努めてまいります。



消防通信 望楼 ぼうろう

産婦人科及び新生児蘇生対応訓練を実施

恵那市消防本部

7月24日（水）、市立恵那病院の伊藤雄二先生による周産期勉強会及び、6名の講師による分娩介助、新生児蘇生の実技訓練を実施しました。

分娩介助や新生児蘇生は普段なかなか経験する事案ではなく、不安をもっている職員も多くいましたが、今回実技訓練を実施したことで活動に対する疑問や不安がなくなったとの感想がありました。

当本部では、今後も伊藤先生の協力を得て定期的に訓練を開催し、少子化の時代に安心して出産できる地域を目指し訓練を続けていきたいと思ひます。



S-KYT（消防団危険予知訓練）研修の開催

松山市消防団

松山市消防団では、令和6年6月2日（日）、消防団員等公務災害補償等共済基金に助成・後援をいただき、S-KYT（消防団危険予知訓練）研修4時間コースを開催しました。

研修会には、幹部団員や女性分団員の合計76名が参加し、座学やグループワークを含むカリキュラムを受講しました。

今回の研修会で学んだことを、所属分団にフィードバックすることで、団員がより安全に活動できる環境を整えていきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】